

大空 (生徒・保護者向け) 12号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年7月7日(火)

When you wish upon a star

□本日の概要

- テスト等が続くと、自分の夢が達成できるか心配になるが、そんな時は自分の原点に立ち返ってほしい。
- 夢は応援している保護者がいるから探すことができるのである。願い続けるなら、きっとその夢はかなう。

When you wish upon a star, make no difference who you are

Anything your heart desires will come to you

If your heart is in your dream, no request is too extreme

When you wish upon a star as dreamers do

Fate is kind. She brings to those who love the sweet fulfillment of their secret longing

Like a bolt out of the blue, Fate steps in and sees you thru

When you wish upon a star your dreams come true

7月7日は七夕でした。五節句の中の一つであり、昔から私たちが大切にしてきた行事です。

一月七日：人日「じんじつ」

三月三日：上巳「じょうし」

五月五日：端午「たんご」

七月七日：七夕「しちせき」

九月九日：重陽「ちょうよう」

→ (本校の創立記念日で、ここから朝陽祭の名が取られています。)

表題の、“When you wish upon a star”という曲は知っていますか。邦訳「星に願いを」という題で、様々なアレンジで演奏されていますので、きっと聞いたことがあると思います。オリジナル曲は、ディズニーのアニメ映画「ピノキオ」の中で、ココロギのジムニー・クリケット卿によって歌われます。

元気がないピノキオに向かって、ジムニーが懸命に励ますのがこの曲です。「星に願いをかけるとき、

夢はかならずかなう」という思いは、東西の文化を超えて、普遍的な願いかもしれません。

(ネットで検索すると、曲も訳も見つかります。それにしても、「Fate」はなぜ「she」なのでしょうかね?)

私事ですが、我が家には、私が小学校2年生の時に書いた七夕の短冊が保存されていました。きっと学校で書いたのでしょう。別に私が保存していたわけではなく、親が保存していた段ボール箱に入っていたのです。その短冊には、こう書いてありました。

「ぼくは、べんきょうをしたい。ぼくは大きくなったら、プラモデル屋さんか、マンガ家になりたい」

プラモデル屋さんにもマンガ家にもなれませんでした。勉強をする(させる)仕事に就きましたので、一応夢は叶ったと言えるのでしょうか。その当時、私が何を考えていたのか、もちろん記憶には残っていません。しかし、今は、この短冊を保存していた親の気持ちが分かります。小学校の頃からのたわいもない夢は、実は、自分の夢を応援し、大切に見守っていた親がいたからこそ達成できたのです。

君たちには、夢があると思います。しかし、課題や難しいテストと向き合い、時には厳しい結果を前にする毎日を過ごしていると、つつい本当に夢が達成できるのかと懐疑的になるかもしれません。そんな時こそ、思い切って自分の原点、自分の本来の夢、望みに立ち返ってみてください。そして、周囲を見回してみてください。君は一人で孤独に夢に向かって歩いているのではないはず。君には、君の夢をそっと見守っている頼もしい保護者がついています。かつて君たちが七夕の短冊に懸けた素朴な願いを大切にしてください。

君たちは、夢をもって、この学校に来たのです。そして、自分の未来について、様々な夢を描いたはず。夢を諦めないで。願い続けるなら、きっとその夢は叶う。Dreams come true!

「ほくはへんきまつをしたい。」
「ほくは大きくなつたら、プラモニテ
ル店ヤ、んかマシンが家になりたい。」